

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年11月9日

**【四半期会計期間】** 第16期第3四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

**【会社名】** ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社

**【英訳名】** GungHo Online Entertainment, Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長CEO 森 下 一 喜

**【本店の所在の場所】** 東京都千代田区丸の内3丁目8番1号

**【電話番号】** 03 - 6895 - 1650

**【事務連絡者氏名】** 取締役CFO財務経理本部長 坂 井 一 也

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区丸の内3丁目8番1号

**【電話番号】** 03 - 6895 - 1650

**【事務連絡者氏名】** 取締役CFO財務経理本部長 坂 井 一 也

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第15期 第3四半期 連結累計期間	第16期 第3四半期 連結累計期間	第15期
会計期間		自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日
売上高	(千円)	7,051,014	11,699,709	9,607,947
経常利益	(千円)	1,446,075	2,475,756	1,545,172
四半期(当期)純利益	(千円)	1,258,803	2,817,597	1,657,750
四半期包括利益 又 は包括利益	(千円)	606,639	2,749,375	1,276,623
純資産額	(千円)	10,000,298	13,564,980	10,794,796
総資産額	(千円)	12,790,603	16,589,462	14,200,995
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	10,951.74	24,512.14	14,422.62
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	10,933.00	24,472.76	14,398.20
自己資本比率	(%)	54.4	62.8	52.6

回次		第15期 第3四半期 連結会計期間	第16期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期 純利益金額	(円)	3,109.83	15,110.00

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第15期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、当第3四半期連結累計期間において、Ingamba LLCの持分の全てを売却したため同社を持分法の適用範囲から除外しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響による低迷から、個人消費や公共投資などの内需が堅調に推移し、緩やかな回復軌道をたどっております。一方で、欧州債務問題の再燃や米国および中国経済の成長鈍化懸念など、先行き不透明な状況が継続いたしました。

当社グループを取り巻く環境は、インターネット利用環境の整備や端末の高性能化が進み、昨今ではスマートフォンやタブレット端末が急速に普及を始めており、第3四半期中の世界におけるスマートフォン出荷台数は、1億7,970万台と前年同期比で45.3%増との報告がなされております。（出所：IDC「第3四半期（7～9月）世界携帯端末市場調査」）また、平成28年にはスマートフォン世界市場の販売台数は13億台に拡大し、年平均22.5%での成長が予測され、かつ高い成長が見込まれる有望市場であることが示唆されています。（出所：総務省「平成24年版 情報通信白書」）

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては「既存価値の最大化」と「新規価値の創造」を経営方針とし、パソコン・スマートフォン・新型ゲーム機等、様々な端末に向け新しいゲームタイトルの創出及び既存ゲームの価値向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,699,709千円（前年同四半期比65.9%増）、営業利益は2,411,628千円（前年同四半期比149.7%増）、経常利益は2,475,756千円（前年同四半期比71.2%増）、四半期純利益は2,817,597千円（前年同四半期比123.8%増）となりました。

なお、報告セグメントの状況（セグメント間の内部取引消去前）は、以下のとおりであります。

#### PCオンライン事業

サービス開始から今年で10周年を迎える「ラグナロクオンライン」は未だ安定した人気を誇っているのをはじめ、既存タイトルの「エミル・クロニクル・オンライン」「トイ・ウォーズ」も堅調に推移いたしました。一方で、3月より韓国にて正式サービスを開始した「ラグナロクオンライン2」は、競争激化が進む韓国内においては苦戦を強いられておりますが、本年度中における韓国以外へのサービス開始も視野に入れたサービス拡大に注力してまいりました。

この結果、売上高は6,024,935千円、営業利益1,199,292千円となりました。

## モバイルコンシューマ事業

モバイルコンシューマ事業におきましては、第1四半期にサービスを開始したスマートフォン向けパズルRPG「パズル&ドラゴンズ」がiPhone「トップセールス」ランキングで1位を獲得、第3四半期まで順調に推移し、また9月18日からGoogle Playにおいてもサービスを開始し、同月25日には「人気のパズル(無料)」ランキングで1位を獲得するなど、Android™OS端末のユーザーにも好評を博しております。また、9月10日よりスマートフォン向け新作ゲーム「クレイジータワー」のサービスも開始し、サービス開始直後より新感覚のゲーム性や独特の世界観が人気となり、同月28日付のGoogle Play「人気の新着(無料)」ランキングで1位を獲得いたしました。

また、PlayStation®Vita向けには、「Dokuro」「orgarhythm(オルガリズム)」「ピコットナイト」と第3四半期中に完全オリジナルの3タイトルを発売し、積極的な新規価値の創造に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は5,863,224千円、営業利益1,794,226千円となりました。

### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,388,466千円増加し、16,589,462千円となりました。これは主に、スマートフォン向けゲームが堅調に推移したことにより、現金及び預金が1,383,591千円増加および売掛金が1,047,107千円増加したことによりです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ381,717千円減少し、3,024,481千円となりました。これは主に、前受金の減少等による流動負債の「その他」の勘定が322,914千円減少したことによりです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,770,184千円増加し、13,564,980千円となりました。これは主に、四半期純利益を2,817,597千円計上したことによりです。

### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は364,150千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	321,200
計	321,200

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	114,961	114,961	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注1)(注2) (注3)(注4)
計	114,961	114,961		

- (注) 1. 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。  
 2. 単元株制度を採用していないため、単元株式数はありません。  
 3. 発行済株式のうち24,308株は、現物出資(関係会社株式1,999,537千円)によるものであります。  
 4. 「提出日現在発行数」欄には、平成24年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の権利行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日 (注)	20	114,961	560	5,331,944	560	5,324,632

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 114,961	114,961	権利の内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式			
発行済株式総数	114,961		
総株主の議決権		114,961	

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【自己株式等】

該当事項はありません。

## 2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,287,954	7,671,546
売掛金	1,244,614	2,291,721
有価証券	161,705	374,197
商品	22,139	16,356
仕掛品	192,952	45,193
その他	677,862	676,870
貸倒引当金	7,636	21,840
流動資産合計	8,579,591	11,054,045
固定資産		
有形固定資産合計	378,631	550,399
無形固定資産		
のれん	530,092	424,522
ソフトウェア	1,027,066	2,072,406
ソフトウェア仮勘定	2,382,251	1,091,698
その他	26,779	30,809
無形固定資産合計	3,966,190	3,619,437
投資その他の資産		
投資有価証券	82,218	9,944
長期前払費用	111,335	158,707
繰延税金資産	592,718	596,608
その他	647,152	717,393
貸倒引当金	156,842	117,074
投資その他の資産合計	1,276,582	1,365,580
固定資産合計	5,621,403	5,535,416
資産合計	14,200,995	16,589,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	310,764	195,368
短期借入金	-	51,715
1年内返済予定の長期借入金	132,554	136,940
1年内償還予定の社債	14,300	14,250
未払法人税等	536,355	536,989
賞与引当金	9,428	8,894
その他	1,627,703	1,304,789
流動負債合計	2,631,106	2,248,948
固定負債		
社債	14,250	-
長期借入金	228,906	178,117
退職給付引当金	81,719	74,714
長期前受収益	181,407	236,578
その他	268,809	286,123
固定負債合計	775,092	775,533
負債合計	3,406,199	3,024,481
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,331,384	5,331,944
資本剰余金	5,492,357	5,492,917
利益剰余金	1,723,264	1,094,332
株主資本合計	9,100,476	11,919,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	288
為替換算調整勘定	1,627,361	1,498,186
その他の包括利益累計額合計	1,627,361	1,497,898
少数株主持分	3,321,680	3,143,684
純資産合計	10,794,796	13,564,980
負債純資産合計	14,200,995	16,589,462

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,051,014	11,699,709
売上原価	2,180,075	4,807,448
売上総利益	4,870,939	6,892,260
販売費及び一般管理費	3,905,306	4,480,632
営業利益	965,632	2,411,628
営業外収益		
受取利息	100,306	96,657
為替差益	36,849	-
負ののれん償却額	323,249	-
その他	56,744	86,891
営業外収益合計	517,148	183,548
営業外費用		
支払利息	9,622	12,599
持分法による投資損失	15,057	59,136
貸倒引当金繰入額	-	13,860
為替差損	-	22,078
その他	12,025	11,747
営業外費用合計	36,705	119,421
経常利益	1,446,075	2,475,756
特別利益		
投資有価証券売却益	190,761	-
関係会社株式売却益	-	45,700
持分変動利益	39,944	-
オンラインゲーム業務委託契約解約益	-	382,950
特別利益合計	230,705	428,651
特別損失		
減損損失	122,056	275,551
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,758	-
ゴルフ会員権売却損	21,161	-
特別損失合計	148,976	275,551
税金等調整前四半期純利益	1,527,804	2,628,855
法人税、住民税及び事業税	152,570	188,993
法人税等調整額	6,221	91,788
法人税等合計	146,348	97,204
少数株主損益調整前四半期純利益	1,381,456	2,531,650
少数株主利益又は少数株主損失( )	122,652	285,946
四半期純利益	1,258,803	2,817,597

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,381,456	2,531,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,835	575
為替換算調整勘定	666,982	217,148
その他の包括利益合計	774,817	217,724
四半期包括利益	606,639	2,749,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	755,381	2,947,060
少数株主に係る四半期包括利益	148,742	197,685

## 【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
1. 持分法の適用に関する事項の変更 当第3四半期連結累計期間において、Ingamba LLCの持分の全てを売却したため同社を持分法の適用範囲から除外しております。
2. 変更後の持分法を適用した関連会社の数 2社

## 【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

## 【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

## オンラインゲーム業務委託契約解約益

当社が平成19年12月28日付で売買契約を締結し、平成21年8月26日に投資事業有限責任組合オンラインゲーム革命ファンド1号へ譲渡したオンラインゲーム「グランディアオンライン」に関して、当社が同ゲームの商用化開始後も継続的な関与があることから、譲渡後も前受金として繰延べ処理されていた譲渡利益相当額は、平成24年9月28日における同ゲームのサービス終了に伴い、当社の同ゲームに対する関与が無くなったため、利益計上いたしました。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
減価償却費	528,947千円	924,668千円
のれんの償却額	87,623千円	116,175千円

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	PCオンライン 事業	モバイルコン シューマ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,317,146	733,868	7,051,014		7,051,014
セグメント間の内部売 上高又は振替高	99,471	68,715	168,187	168,187	
計	6,416,617	802,584	7,219,202	168,187	7,051,014
セグメント利益 又は損失( )	1,899,043	452,172	1,446,871	481,239	965,632

(注) 1. セグメント利益の調整額 481,239千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない  
当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「PCオンライン事業」「モバイルコンシューマ事業」セグメントにおいて、それぞれゲーム資産  
の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、前第3四半期累計期間において「PCオンライン事業」70,785千  
円、「モバイルコンシューマ事業」51,271千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	PC オンライン 事業	モバイルコン シューマ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,935,940	5,763,768	11,699,709		11,699,709
セグメント間の内部売 上高又は振替高	88,994	99,455	188,450	188,450	
計	6,024,935	5,863,224	11,888,160	188,450	11,699,709
セグメント利益	1,199,292	1,794,226	2,993,518	581,890	2,411,628

(注) 1. セグメント利益の調整額 581,890千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない  
 当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「PC オンライン事業」「モバイルコンシューマ事業」セグメントにおいて、それぞれゲーム資産  
 の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において「PC オンライン事業」178,830千  
 円、「モバイルコンシューマ事業」96,721千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	10,951円74銭	24,512円14銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,258,803	2,817,597
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,258,803	2,817,597
普通株式の期中平均株式数(株)	114,941	114,947
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	10,933円00銭	24,472円76銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	197	185
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社  
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 中嶋康博 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 岸 信一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。